

ウィズバイク

RSGライディングスクールへようこそ!

ウィズバイクスクールへようこそ!! RSGライディングコーチのミナキです(^^)/ いよいよ待ちに待ったシーズンイン!! 今回は、シーズン前のメンテナンスのお話です。



皆さんに
質問です(^^)/

シーズン前のメンテナンスや車検では色々な消耗品を交換しますよね。特に「液体」と言われるもののは必須。では指折り数えてみましょう! まず第一に、エンジンオイル、ブレーキフルード、そして走行距離によってはラジエーター液、以上終了!さて、これでいいのでしょうか?

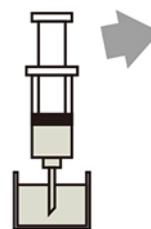


もう一つ大切な「液体」を忘れてませんか~(^^; そうです! 左右合わせて1Lも入っているフォークオイルです。このオイルの重要性を忘れるようではライディングのレベルUPは出来ません! というお話です・・・。

フォークオイルの大切な役割 その1

フロントフォークの動きを制御

シリングでコップの液体を吸い込んだり押したりをイメージして下さい。その液体がオイルの様に粘度が高い場合と水の様に粘度が低い場合では動かし易さが変わりますよね。同じ力で動かした時に動くスピードが変わるという事です。フロントフォークが上下運動するときの内部では、これと同じことが起こっています。オイルが部屋と部屋を行き来する時の抵抗を利用してフォークの動きをしっかりとさせているのです。



という事は!

オイルが劣化して粘度が下がれば、縮む時も伸びる時も動きが速くなり、フロントが落ちやすくなったり、サスの手ごたえが無くなったりします。(実際にタイヤのグリップも落ちる!)

結論

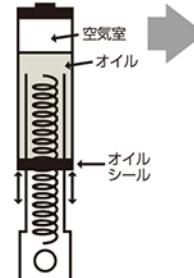
フロント周りがワフワフと頼りなければ、ライダーはバイクに対して安心して荷重を掛けたり、パンクさせたり出来ません。そんなバイクは不安なので、結果恐る恐る乗る事になってしまいます。

フォークオイルの大切な役割 その2

フロントフォークのストローク量やストローク後半の硬さを決定

右の図は倒立フォークのイメージ。オイルが入ったアウターフォークの中にインナーフォークが出たり入ったり上下動を繰り返します。フォークが縮めばオイルが入っていない空間は圧縮され、エアスプリングとして沈み込みの奥の方でメインのコイルスプリングを助ける役割をします。

そして同時に圧縮されたエアは、オイルを押し出そうとしますがそれを止めてくれるのがオイルシール。ゴムの劣化やインナーの傷でオイルが漏れれば、あついう間に空気室の容量は増えてしまいます。仮に漏れがなくともオイルに漬かっては出てくるインナー表面のオイルをシールで完璧にかき落とすことは不可能です。何万キロも走行すればオイルは少しずつ減り空気室の容量が増える事になるのです。



という事は!

オイルが減って空気室が大きくなれば縮んだ時の圧縮率は減ります。受け止める力も減るのでフォークが大きく沈む場面で一気に動いたり、時には高荷重を受け止めきれず底突き(フルストローク)したりします。

結論

これでは急制動は勿論、思い切ったブレーキが出来ずメリハリのない走り方になってしまいます。ライダーの操作をしっかり受け止めてくれない感じがするバイクは不安なので、結果恐る恐る乗る事になってしまいます。

ミナキの独り言

エンジンオイルはみんな真面目に決められた走行距離で交換してるよね。「あ~距離伸びたヤバイ、ヤバイ交換しなきゃ!」みたいな感じ(笑)。勿論エンジンを元気に長持ちさせるには必要なこと。それに対して1万キロ以上も仕事をさせられているフォークオイルの事を気にかけている人は本当に少ない。多分オイルの存在は知っていても潤滑油位にしか思っていないんじゃないかな。。でも僕の場合は逆です。「もう5000km以上もフォークオイル変えてない、ヤバイヤバイ早く換えないや!」てな感じ(笑)。もちろんエンジンオイルもちゃんと交換するけど過走行じゃなければ今のバイクは壊れないからヤバイ感はない。でもサスペンションが悪くなると走っていて楽しくない!僕にとってはこれはもうバイクに乗る意味がないほどの大問題なんだ。よく「何に乗っても違ひが分からないから・・」っていう人いるけど、分かる分からないじゃないんだよね。バイクって感覚の乗り物だから上手い人もビギナーも無意識にバイクを感じ取りながら操作している。ビギナーだって乗りやすいバイクになる程気持ちよさは増えるし、逆に乗りにくいバイクになる程怖さが増していく。エンジンオイルはエンジンを守るだけだけど、フォークオイルはバイクの乗りやすさを維持してくれる大切なパートなんだ。

教えて! ミナキ校長!!



今回のサスペンションの話を
YouTubeでもっと詳しく
話しているので見て
みてね~(^^)/

【ライディングコーチ MINAKI】 RIDING SPORTS GARAGE 代表

西日本チャンピオンを経て 1990 年レースブームの真っただ中、国際 A 級へ自動昇格し全日本選手権を転戦。鈴鹿 8 耐に幾度も出場し完走。現役時代より教え出したら止まらない癖あり。

現在は、ショップと各サーキットでの一般ライダー向けスクールを年間 25 回以上開催。

コーチングノウハウを駆使して RSG レーシングを率い、同チームから多数の全日本ライダーを輩出。

「RSG レーシング & スクールファミリー」で 2015 年 2017 年 鈴鹿 8 耐を無事完走!



profile

『RSG で検索』

RSG HP <http://rsg-sports.com>